



アカシア120

記念事業特集 第6号

母校創立120周年記念日
令和7年4月17日

●編集／アカシア120記念事業実行委員会

●発行／令和7年7月1日



創立120周年 記念事業を終えて

広島大学附属中・高等学校 校長

小野 章

アカシア会の皆さまにおかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。本校に対しましては、平素より格別なご厚情を頂き、心より御礼申し上げます。4月19日に開催された120周年記念式典におきましては、アカシア会から多大なるご寄附を賜りました(写真は全国アカシア会会長の槇本良二様から目録を頂戴した際に、学校からの感謝状をお渡ししているところです)。記念式典に続く記念イベントとして企画して頂いた「アカシア120ピースフォーラム」では、「平和を希求する精神」(広島大学の理念5原則のひとつ)の尊さを再認識いたしました。お蔭様をもちまして、創立120周年記念事業が成功裏に終わりましたことをここにご報告するとともに、アカシア会の皆さまに心より感謝申し上げます。

アカシア会の存在意義は、「同じ学舎で学んだ同志が『アカシア』という絆の下に集い、脈々と受け継がれる自由闊達な校風で培った崇高な精神で、繋がらうこと」(槇本良二氏)にあります。120周年記念事業では、まさにアカシア会の「絆」や「繋がり」の強さを実感するとともに、本校の歴史を改めて振り返り、卒業生の皆さまのご活躍を再認識することが出来ました。在校生および教職員は、本校の伝統を誇りに思うと同時に、その伝統に新たな息吹を吹き込み、さらなる発展に向けて邁進していく所存です。

最後になりましたが、これからも本校への変わらぬご支援をお願いするとともに、アカシア会の皆さまの益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



120周年 記念行事開催御礼

全国アカシア会 会長

槇本 良二(69回)

この度は、120周年記念行事であるピースフォーラムに生徒・教師を含め、1,800人の参加、祝賀会に660人の参加と多くの皆様の参加を頂き、盛大にイベントを開催することが出来、多くの方からの感謝・感動の言葉に、いまだにその興奮冷めやらぬ状況といったところで、アカシア同窓生としての喜び、誇りを改めて実感しております。

振り返りますとこの120周年記念行事の開催に向けては、実行委員の人選なども含めると約2年半前から着手して参りました。この記念行事を遂行するにあたり、次の3点を考えながら、進めてきました。

- ①120周年を記念して、母校にどんな貢献ができるのか？
- ②10年に一度の周年行事を通じて、何をテーマにどんな発信をするのか？
- ③母校と地域は教育を通じた共同体、アカシア会はその架け橋。どんな地域貢献ができるのか？

この課題に対しては、計6回記念事業特集号を発行し、120周年の機運を盛り上げ、6,000万円もの寄附・協賛を頂き、実に多くの同窓生に参加頂くことが出来ました。また、母校に対しては全校生徒をキャッツの観劇に招待し、芸術に触れる喜び、感動を経験して頂くと共に、研修棟連絡通路にアカシア回廊と名付ける屋根を設置、雨天時対策を施すこととしました。そして、「アカシアから平和のメッセージを!」と題し、市民の方々にもご参加いただき、ピースフォーラムを開催、平和を祈る思いを発信することが出来ました。

同窓会意識がともすれば薄くなりがちな昨今、アカシア同窓生が母校、仲間を思う気持ちを強め、これからもアカシア同窓生としての矜持の持てる同窓会となっていけるよう、今後とも皆で盛り上げていければと思っています。最後に120周年記念行事へのご協力、誠に有難うございました。

アカシア120記念事業実行委員会スタッフごあいさつ



実行委員長
前 泰弘 (71回)

この度の、広島大学附属中・高等学校創立120年の記念事業に関しまして、同窓生の皆様からのご支援、ご協力により盛況のうちに無事に終える事ができました。また、祝賀会では、被爆地広島

の再生と、平和への祈りを込めた太鼓曲「広島と平和機縁太鼓」の演奏を披露させて頂けた事は光栄の至りです。

そして、同窓生の皆様からのご芳志により、母校の設備改修や、在校生への芸術鑑賞のプレゼントなど、少しばかりではございますが、恩返しができたと思います。皆様、本当にありがとうございました。

2年前「アカシア120実行委員会」を起ち上げ、アカシア120周年記念事業の成功に向け、長い間「実行委員会」や「各部会」で議論して参りました。決して楽とは言えない道のりを、時には意見をぶつけ、協力し、支え合い、一丸となり共に乗り越えられた事、深く感謝するとともに、私自身、アカシア同窓生の一員であることを誇りに思います。

平和都市広島、歴史ある母校で学んだ、我々アカシアの同志たちが、「平和の尊さ」と「絆」を継承し伝承していくために、このアカシア120周年記念事業が意義のある場となり、平和について考え、世界に発信していくきっかけになればと願い、また130周年に向け、アカシアの歴史の襷を繋いでいくための、新たなスタートとして頂ければ幸いです。

改めて、これまで、アカシア120周年記念事業に携わり、ご尽力くださいました、アカシア会員の皆様、大変お世話になりました。

心より感謝申し上げます。



記念事業事務局長
先本 賢司 (71回)

2年前の実行委員会発足以来、熱心に協議を重ねてきました事業を大盛況のうちに終えることができました。施設整備「アカシア回廊」につきましては、2025年秋の完成を目指し、準備が進んでいます。

今回の記念事業は、1) 記念式典 2) ピースフォーラム 3) 親睦交流事業(記念祝賀会、観光ツアー、記念ゴルフ会) 4) アカシア回廊建設 5) 劇団四季キャッツの全生

徒招待 6) 会報特集号他冊子の発行 など盛りだくさんの構成でした。各事業において、参加者の方々から絶賛の声をいただき、スタッフの英知を結集した企画と準備作業が報われた思いです。

役員・各部会・事務局の皆さま、ステージ登壇者さま、当日ボランティアの皆さま、学校の先生方、そしてアカシア回廊の無償設計をいただいた先輩…、お礼を述べたい方を挙げればきりがありません。業務多忙の中、ご家庭も犠牲にされながらご協力を賜り心から感謝しております。こんな素敵なメンバーと汗をかけたことは私にとっても大きな財産になりました。事務局長として、多方面で無理をお願いしましたことをどうかご容赦ください。

想定額を上回る個人や同期会からのご寄附、並びに法人協賛をいただき、皆様の暖かい母校愛を強く感じさせていただきました。ありがとうございました。



総務部会長
田中 泉 (66回)

母校創立120周年記念事業にご参加・ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。

今回、総務部会としては、特に2つのことを工夫しました。1つは、個人寄附用の郵便振替用紙を利用し寄附金控除を希望して寄附して頂いたものを「キャッツ」鑑賞費用と「アカシア回廊」建設費に充当し、110周年の際その捻出に苦労した事業運営費はそれ以外の寄附・協賛金から確保して、適切に配分できたことです。もう1つは、110周年の際に中学生全員が「宇宙フォーラム」ではフェニックスホールから別室に移って中継で視聴したため不評だったことに鑑み、中学・高校生に「ピースフォーラム」までそのまま1階席にいて、アカシアの先輩方の立派な姿をよく認識してもらえたことです。しかしこの結果として、アカシア会員の大先輩の皆様には3階席まで階段で上がっていただきご苦労をおかけしました。この場を借りて、お詫びいたします。

当日の運営では種々の想定外の問題が生じましたが、何よりも、100名のボランティアの方たちの臨機応変な連携・創意工夫により的確に対応することができました。年代を越えて結束するアカシア精神の素晴らしさを改めて実感することができました。本当に有難うございました。



行事運営部会長
川上 伸一(70回)

母校創立120周年と被爆80年が同年ということで、今回の記念事業の全体的テーマを『平和』とし、4月19日(土)に「ピースフォーラム」と「記念祝賀会」、翌20日(日)に「観光ツアー」と「記念ゴルフ」を開催しました。「ピースフォーラム」に1,800人、「祝賀会」660人、「観光ツアー」34名、「記念ゴルフ会」48名と多くの方々にご参加頂きました。特に「ピースフォーラム」では在校生・アカシア会員以外に一般の方(保護者の方を含む)200名にもご参加頂けたことで、「アカシアから平和のメッセージを、普段母校がお世話になっている地域の皆様にも届けよう!」という、当初の目標が少しでも達成できたように思います。また記念事業全体を通して、上はアカシア41回93歳、下は114回19歳と幅広い年齢層のアカシア会員が、共に創立120周年を祝うことができたのは、極めて喜ばしいことだと思います。また、そこにアカシアの輝かしい歴史も感じることができました。今回の記念事業を大過なく終了できましたのも、ひとえにアカシア会員の皆様のご支援・ご協力があったからこそであり、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



広報記録部会長
松下 督克(75回)

広報記録部会は「本事業を広報し盛んな事業にすること、その内容を記録に残し次の世代にバトンタッチすること」を合言葉に12人が集結し、1) 120年史、2) 特集号全6号、3) 公式ホームページ、4) 当日配布するガイドブック及びプログラム、5) 130に繋げる事業報告書、という5つの事業に取り組みました。お陰様でこれら事業を全て完遂することができ、部会員をはじめ関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

このたびの活動を通じて、アカシア会の人脈という財産が、生涯に通じる強い結束力を生み、新たな力が生まれました。その新たな力がひとつになり2年の準備期間を経て、平和をテーマとする本事業が実施され成功裏に終えることができました。アカシア会には有名無名を問わず、一隅を照らすような人物が沢山おられます。さまざまな分野で活躍される会員みなさんが10年に一度、一堂に集い結び付

くことは大変意味深いことです。当部会の活動が創立130周年記念事業に繋がることを祈念してやみません。

最後に、本事業を通じて貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、母校、アカシア会及びアカシア会員の皆様の一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。



寄附協賛部会長
大上 正人(87回)

2年前、図らずも寄附協賛部会長という大役をお引き受けすることとなり、当初は高い目標額に対して大きなプレッシャーを感じる中での出発でしたが、榎本会長をはじめ実行委員会の皆様の温かいご支援のもと、多くの方々をご紹介いただき、活動を進めることができました。私の段取りの悪さから、寄附協賛部会の皆様にはご迷惑をおかけする場面もありましたが、部会の皆様からもご協力を頂き、最終的には寄附・協賛合計の当初目標額4,000万円に対し、大幅に上回る6,000万円のご支援を賜る事ができました。この場をお借りいたしまして、募集に際してお力添えを頂きました皆さま、そしてご寄附・ご協賛を頂きました全ての皆さまに深く御礼申し上げます。

これまでの特集号等で既報の通り、これらのご寄附・ご協賛を活用し、アカシア120周年記念事業として在校生全員を劇団四季の「キャッツ」広島公演に招待し、さらに母校には「アカシア回廊」を寄贈することができました。この回廊は今秋の完成を予定しておりますので、秋以降に母校へお立ち寄りの際にはぜひご覧いただければ幸いです。

4月19日の式典当日には、記念式典やピースフォーラムに多くの方がご参加くださり、また祝賀会では皆様の笑顔と賑やかな雰囲気を一参加者としても実感できたことが何よりの喜びです。改めて、アカシアの絆、そしてアカシア会員皆様の母校に対する深い愛情を強く感じた二年間でした。ありがとうございました。

アカシア120記念行事参加者数

- ① 120周年記念式典 1,300人
うち学校関係者 1,000人 アカシア会員他 300人
- ② アカシア120ピースフォーラム 1,800人
うち学校関係者 1,000人 アカシア会員 600人
一般来場者 200人
[アカシア会員 最高齢41回(93歳)、最年少114回(19歳)]
- ③ アカシア120記念祝賀会 660人
- ④ アカシア120記念ゴルフ会 48人
- ⑤ アカシア120観光ツアー 34人

120周年記念事業報告

120周年記念式典

4月19日(土) 12:00～13:30 広島国際会議場フェニックスホール



祝賀演奏

式典は管弦楽班による祝賀の曲「威風堂々第1番」の演奏で開式となり、開校記念日の歌ならびに校歌を合唱班の先導のもと全員で合唱し開式となりました。最初に、小野章学校長より式辞、越智光夫広島大学長よりご祝辞をいただきました。

続いて、アカシア会より湯崎英彦広島県知事(75回)、楨本良二アカシア会会長(69回)より祝辞、寄附金の目録贈呈が行われました。

その後、「被爆80年、そして創立120周年～これからを生きる附属生～」と題して、在校生・卒業生による活動報告やビデオメッセージがあり、生徒を代表して中学と高校生徒会執行委員長の両名より挨拶があり閉式となりました。

當時を懐古するアカシア会員も多かったでしょう。ご臨席を賜りましたみなさまに、心より御礼申し上げます。



小野章学校長 式辞



越智光夫広島大学長 祝辞

アカシア120ピースフォーラム

4月19日(土) 14:30～16:45 広島国際会議場フェニックスホール

アカシア120ピースフォーラムは広島国際会議場フェニックスホールで盛大に開催されました。一般の方々を含む1,800名の参加者を迎え、世代を超えて平和について語り合う貴重な機会となりました。

総合司会を務められたのはテレビ朝日エグゼクティブアナウンサーの天下容子氏(79回)。開会の挨拶では前泰弘実行委員長(71回)が「永続的な世界の平和のために一人一人が改めて平和について考え、平和のネットワークを広げていくきっかけになることを願います」と語られ、フォーラムがスタートしました。



開始前会場



総合司会 天下容子氏(79回)



開会挨拶 実行委員長 前泰弘氏(71回)



被爆ピアノ演奏 桂杏子氏(72回)

1. 「明子さんの被爆ピアノ」演奏

ピアニストの桂杏子氏(72回)が、河本明子さんの愛用していた被爆ピアノで、「春:5月の夢の歌」「哀傷I」「星の子守歌」の3曲を演奏しました。力強くも悲しい情感豊かな演奏に会場は深い感動に包まれました。



Since 1938 Welding & Machining

株式会社 中野鉄工所

広島市中区江波南2丁目10番37号

TEL: 082-232-0401 FAX: 082-231-6505

中野	陽介	(90回)
筒井	啓行	(86回)
門前	智	(90回)
中野	巧	(92回)

2. 基調講演「8時15分～アカシアから世界に広げる平和のメッセージ～」

サンディエゴ在住の臨床心理医であり、映画「8時15分ヒロシマ 父から娘へ」の原作者でもある美甘章子氏(70回)による基調講演が行われました。講演冒頭では映画の一部が上映されました。「自分が正しくて相手が悪いと思うのではなく、相手の状況を理解しようとするのが重要。どうしたら憎しみの悪循環が断ち切れるのか考えてみて」と語られ、「8月6日8時15分に世界中で鐘を鳴らし、戦争や争いを一旦止めて平和を考える日にしたい」とご自身の夢についてお話されました。

3. 映像「アカシアの先輩たちの平和活動」

濱井信三氏(14回)、藤居平一氏(24回)、新井俊一郎氏(41回)のこれまでの平和への取り組みが映像で紹介されました。新井さんは今回のフォーラムにも参加され、客席で同級生の方々と共にご挨拶されました。

4. パネルディスカッション「アカシアから平和を」

ファシリテーターは天下容子氏。登壇者は美甘章子氏、在シカゴ日本国総領事の溝渕将史氏(74回)、広島県知事の湯崎英彦氏(75回)、広島市被爆体験伝承者1期生の保田麻友氏(93回)の4名。「世界から見た広島」や「被団協ノーベル平和賞について伝承していくこと」など、平和と広島をテーマにアカシアならではの視点で深い議論が交わされました。

「創立120周年、そして被爆80年という大きな節目に、皆様と一緒に平和について思いを共有できたことは大変貴重な時間でした」。天下容子氏の言葉でフォーラムは幕を閉じました。



基調講演 パネリスト 美甘章子氏(70回)



基調講演会場



高田勇氏 植野克彦氏 新井俊一郎氏(41回)



パネルディスカッション



ファシリテーター 天下容子氏(79回)



パネリスト 溝渕将史氏(74回)



パネリスト 湯崎英彦氏(75回)



パネリスト 保田麻友氏(93回)



120周年おめでとうございます。

細田林業株式会社
アカシア87回 細田 宗嗣

アカシア120記念祝賀会

4月19日(土) 17:30～19:30 リーガロイヤルホテル広島



広島和平機縁太鼓演奏

リーガロイヤルホテル広島のロイヤルホールにて記念祝賀会が開催されました。アカシア会員と教員OBなど660名が出席し、時を越えての再会を喜び合いました。

山崎菜緒氏(104回)が司会を務める中、会の始まりを飾ったのは広島青年会議所太鼓同好会のOBによる迫力ある和太鼓の演奏で、華やかな幕開けとなりました。

開会の挨拶では榎本良二アカシア会会長(69回)が、「同窓会は純粋に集まり語り合うことにこそ価値がある」と初代校長・長谷川乙彦先生の言葉を引用し、温かいメッセージを届けられました。

続いて湯崎英彦広島県知事(75回)の祝辞をはじめ、鏡開き、乾杯へと進行していきました。各テーブルでは懐かしい再会を喜ぶ笑顔と笑い声があふれ、あっという間に時間が過ぎていきました。

終盤には会場全員でコールアカシアのメンバーの方々と共に開校記念日の歌と校歌を合唱し、会場の熱気は最高潮に達しました。

名残惜しさの中、山崎雄嗣東京アカシア会会長(66回)の中締め、そして最後は再び榎本会長の力強いエールで会は締めくくられました。

参加者は130周年での再会を約束し、記念品の枡を手に会場を後にしました。



総勢18名による鏡開き



アカシア120実行委員会 委員長 前泰弘氏(71回)による乾杯



歴代・新校長先生を囲んで



東京アカシア会 会長 山崎雄嗣氏(66回)による中締め挨拶



アカシア会 会長 榎本良二氏(69回)による大エール



アイスクリーム

Value Added Foodlife

広がります 食彩生活

株式会社 **やまひろ**

本 社：広島市西区商工センター1丁目11番21号
TEL：082-277-1313
H P：http://www.yamahiro.co.jp/



冷凍ゆで麺

アカシア120記念ゴルフ会

4月20日(日)8:30～ 広島カンツリー倶楽部 西条コース

春雨の中、新緑が芽吹く美しい賀茂台地のもと、記念ゴルフ会が盛大に開催されました。参加者は46回大方幸三氏・高橋正光氏(88歳)から105回河井将司氏(29歳)まで世代を超えたアカシア会員が一堂に会し、総勢48名(うち女性4名)にてアウトイン各6組のダブルペリア方式で実施されました。プレーが始まる前は緊張感が漂っていたものの、始まってみれば同窓生同士楽しく賑やかなゴルフコンペとなりました。激戦の結果は、優勝:谷口公啓氏(73回)、準優勝:大上正人氏(87回)、第3位:細田宗嗣氏(87回)でした。

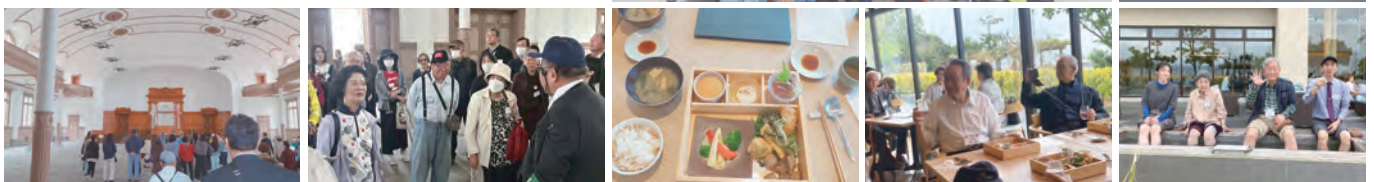
「こんな素晴らしいゴルフ場でこんなに楽しくプレー出来るのであれば、10年後も是非!」と皆さん笑顔溢れる盛会なゴルフコンペとなりました。



アカシア120観光ツアー

4月20日(日)9:00～ 江田島探訪

前日の式典・フォーラム・記念祝賀会の余韻も冷めやらぬまま、4月20日に広交観光様と行事運営部会のアテンドによる観光ツアーが始まりました。41回から110回まで幅広い世代の30名が母校に集合、当日はあいにくの小雨でしたが気温は程良く、一行はまず江田島までの船旅、貸し切りバス内では自己紹介をしながら海上自衛隊第1術科学校を訪問し校内を見学しました。続いて「World Luxury Hotel Awards 2024」において国内で唯一、世界最高位を受賞した江田島荘でランチと足湯を楽しみました。最後に「えたじまーれ」で特産品を物色し帰路につきました。特に第1術科学校内の教育参考館に展示された遺品や資料には心が掴まれ、55回谷本先輩からの補足説明をはじめ、この日のために資料を事前に準備された方もいらっしゃいました。平和への尊さとアカシアの絆の強さを感じた思い出に残る旅行でした。



ウエノヤビル
UENOYA BUILDING CO., Ltd

劇団四季ミュージカル『キャッツ』学校鑑賞報告

創立120周年記念事業の文化的支援として、2024年11月22日(金)、2025年1月8日(水)、1月9日(木)と3回に分けて、中高全生徒、教職員に劇団四季ミュージカル『キャッツ』鑑賞を提供いたしました。生徒の感想を抜粋し鑑賞報告とさせていただきます。

- 本格的な劇団四季は初めて見たので貴重な機会になりました。最初入場した時のセットがすごく凝っていてまず驚きました。劇も最初とても声がそろっていて、ダンスも上手で驚きました。貴重な経験をありがとうございました。(高Ⅲ女子)
- 歌やダンス、マジックなどあらゆる種類のエンタメが凝縮しており、非常に充実感に満ちた経験だった。豪華なセットやその転換、ロック調からバラードまで様々なジャンルの音楽が楽しめて、学生のうちから良い経験ができた。(高Ⅲ男子)

○私はキャッツを初めて観たので、やはり生で観る劇は違うなと改めて思いました。特に後半の「メモリー」という曲が好きです。元々聴いたことのある曲だったので、さらの鳥肌の立つ歌声で本当に観に来てよかったと思いました。またもう一度観てみたいです。(中3女子)

○後輩のために事業を行ってくださったのがありがたかった。劇の技と声が引き込まれそうな迫力だった。(中3男子)



120周年記念事業 寄附・協賛のお礼

多数のご寄附・ご協賛を頂き誠にありがとうございました！

令和7年2月1日～令和7年5月15日にご応募いただいた個人、法人等のお名前を下記に掲載させていただきます。(「氏名掲載不可」者を除く)

個人寄附:合計1,461名より総額3,386万円

元教員	堀松三	泰樹	樹茂	昭莊	34回	石原一三	40回	金子山本	43回	吉田文次郎	44回	藤内道夫	45回	河合朗美	大内昭三	真田恵	池上	46回	村上孝子	47回	吉岡圭子	48回	島本浩子	49回	加瀬希代子	50回	山口元子	51回	難波真保子	52回	田部高弘	53回	中谷泰美	54回	近谷紀夫	55回	関手高祖	56回	山縣秀司	57回	沖永真奈	58回	西田素純	59回	田村英夫	60回	井山高秀	61回	井上徳宣	62回	井加藤達也	63回	中川光治	64回	廣三宅敏	65回	菅前田慶	66回	本原研郎	67回	岡原博文章	68回	西野真佐子	69回	佐藤隆貴	70回	橋本早苗	71回	西本内寛	72回	西本芳賀	73回	角森川	74回	西川珠代	75回	塩出大	76回	宮井ふみ子	77回	北村佳子	78回	加用雅信	79回	宮内善浩	80回	松尾英貴	81回	山崎亮之	82回	83回	84回	85回	86回	87回	88回	89回	90回	91回	92回	93回	94回	95回	96回	97回	98回	99回	100回	101回	102回	103回	104回	105回	106回	107回	108回	109回	110回	111回	112回	113回	114回	115回	116回	117回	118回	119回	120回
-----	-----	----	----	----	-----	------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	------	------	-----	----	-----	------	-----	------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

法人・学年・地域・職域・クラブ等協賛:合計143先より総額2,542万円

- ◆法人 (株)IAC、(株)オリエントコーポレーション、(株)たきのぼり不動産、(株)中野鉄工所、(株)浜野鉄工所、細田林業(株)、(株)やまひろ
- ◆地域・職域・クラブ等 もみじ銀行アカシア会有志一同

アカシア120周年記念事業のボランティア活動にご協力いただきありがとうございました。

67回	倉金細竹	68回	黒崎	70回	越智	71回	山崎	73回	先本	74回	植本	75回	村上	76回	友井	78回	菅野	79回	青山	80回	村上	81回	山崎	82回	山崎	83回	山崎	84回	山崎	85回	山崎	86回	山崎	87回	石橋	88回	島田	89回	荒島	90回	島田	91回	稲見	92回	天谷	93回	佐水	94回	小井	99回	神岡	104回	和長	105回	松川	106回	吉川	107回	児玉	108回	高山
-----	------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----